

(2) 人づくり・心そだて

《施策別成果動向一覧》

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
学校教育	10	子どもたちにとって楽しい学校をつくる	順調でない	1	0	1	1	0	1	4	0	5	0	4	0	5	0
	11	学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える	横ばい	0	1	1	1	0	1	4	0	0	0	3	0	1	0
社会教育	12	青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる	順調	2	0	0	2	0	0	4	0	0	0	4	0	0	0
	13	マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる	順調でない	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	1	1	1	0
	14	楽しみや生きがいを感じるまちをつくる	横ばい	1	0	0	1	0	0	1	0	3	0	2	0	2	0
スポーツ	15	だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる	横ばい	1	0	1	1	0	1	3	0	0	0	2	0	1	0
文化	16	文化に親しみ心豊かなまちをつくる	順調	1	0	0	1	0	0	2	0	1	0	2	0	1	0
文化財	17	郷土の歴史や文化を大切に継承する	順調でない	1	0	1	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0

《まちづくり評価委員会の評価》

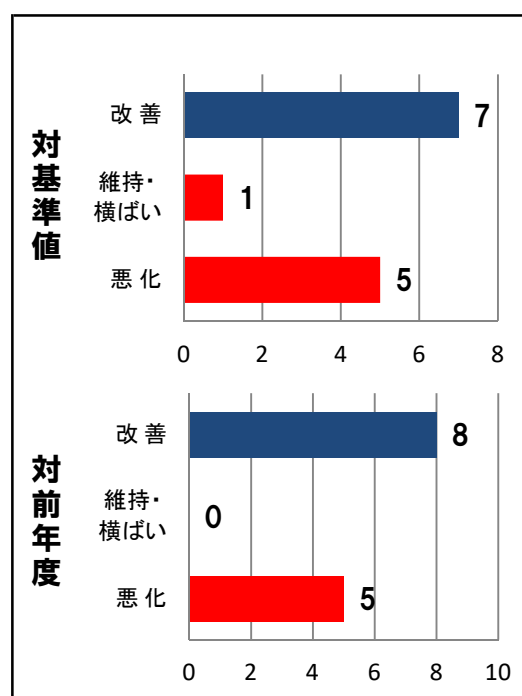
「人づくり・心そだて」分野では、まちづくり指標等の動向から判断して、施策の成果動向は、「順調」が2施策、「横ばい」が3施策、「順調でない」が3施策となり、分野全体の成果動向は、「横ばい」と評価する。

子どもたちの学びと成長環境の質を向上させるための具体的な課題解決と施策の改善を図るため、教員の指導の質向上、不登校対策など、学校現場で直面する課題への対応が必要である。

また、部活動の地域移行や地域との連携の強化も重要であり、これらを通じて子どもたちが楽しく学び、健全に成長できる環境を整える必要がある。

- [施策10] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。
- [施策11] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」と評価する。
- [施策12] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」と評価する。
- [施策13] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。
- [施策14・15] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」と評価する。
- [施策16] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」と評価する。
- [施策17] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。

《まちづくり指標の状況》



〔10年後めざそう値を達成した指標〕

0018	家庭で安らいでいると感じている青少年の割合
------	-----------------------

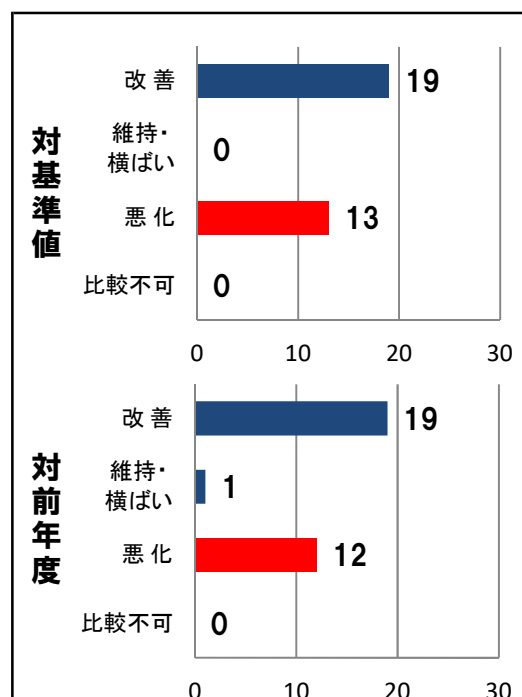
〔基準値と比較して改善した主な指標〕

0019	青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合
0021	生涯学習を行っている人の割合
0024	文化・芸術活動を行っている人の割合
0026	15歳～30歳の若者のなかで、伝統文化を継承している団体に所属している人の割合

〔基準値と比較して悪化した主な指標〕

0014	不登校の児童生徒の割合
0016	地域の人で学校教育に関わった人の数

《成果指標の状況》



〔基準値と比較して改善した主な指標〕

1111	学校支援協議会の活動者数
1122	地域で行われる異年齢交流事業の参加者数
1521	全国大会出場件数
1621	市の文化施設で行われる文化・芸術事業への参加者数

〔基準値と比較して悪化した主な指標〕

1052	給食の食べ残しの量
1311	ボランティア活動に参加したことのある児童生徒の割合
1411	生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数
1422	1か月間の児童生徒の読書量

《第2章「人づくり・心そだて」指標の状況》

【まちづくり指標】「家庭で安らいでいると感じている青少年の割合」が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成したほか、「青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合」など、基準値と比較して7指標、分野全体で53.8%が改善した。

一方、基準値以下となった指標は「不登校の児童生徒の割合」はじめ5指標（38.5%）となった。

【成果指標】「学校支援協議会の活動者数」はじめ19指標、分野全体で59.4%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は「給食の食べ残しの量」はじめ13指標（40.6%）となった。

章 02 人づくり・心そだて

理念 いきいき

節 01 学校教育

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる

施策主管課【学校教育課】

めざすまちの姿

子どもたちにとって学校が楽しく、不登校児童生徒が少ない

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

子ども一人ひとりが、確かな学力を身につけ、豊かな心を育む教育内容の充実に努めます。
学校生活をとらえて、人間として成長と発達を続けていく基盤となる力を養い、学校に楽しく通えるようにします。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	個性と能力が伸びる授業をつくる	438,752	436,436
02	いじめ・不登校対策を充実させる	44,617	42,940
03	快適で安全な学校生活を充実させる	2,542,502	2,494,636
04	出会いと体験の場を提供する	114,567	114,175
05	食の大切さと楽しさを理解させる	854,360	848,654
施策合計		3,994,798	3,936,841

まちづくり指標の分析

No	0014	No	0015
方向性	➡	方向性	➡
不登校の児童生徒の割合		学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	
対基準値:2.7ポイント増/基準値からの推移:× 10年後めざそう値達成率:-675.0% 小中学別:差異有 要因:長年に渡るコロナ禍での生活習慣の乱れの影響や中1ギャップの増加等によるものと考え。		対基準値:2.4ポイント増/基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:25.0% 小中学別:差異無、学校別:差異無 要因:授業内容に教職員向け研修の成果が表れている一方で、支援が必要な子どもが増加傾向にある。	

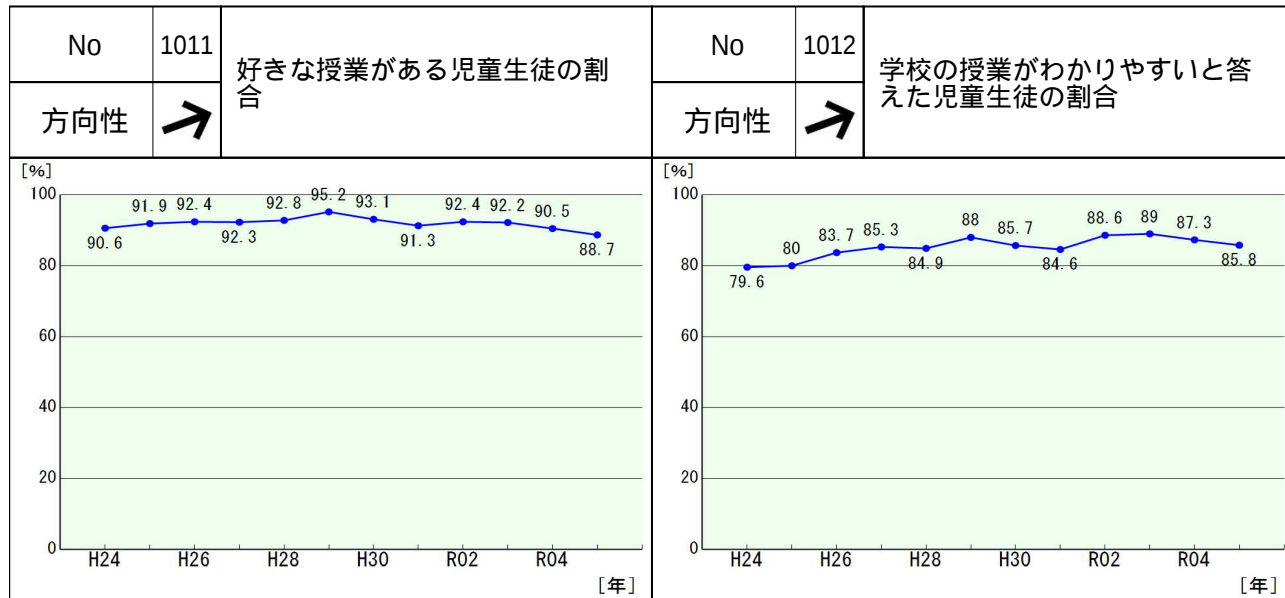
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「不登校の児童生徒の割合」は基準値から低下しており、「学校が楽しいと感じている児童生徒の割合」はめざそう値達成率が25.0%であることから、施策は順調に進展しなかった。
課題のある児童生徒の増加や、コロナ禍での生活習慣の乱れ、中1ギャップが大きかったこと、また、教職員向けの研修の成果として子どもたちが分かりやすいと実感する授業が行われた一方で、コロナ禍により学校行事等の活動を縮小・自粛したことで挑戦する意欲や能力を開発する機会が減少し、夢や目標を持って取り組むことが困難になったことが要因と考える。
7次計画では、引き続き関係機関等と連携し効果的な不登校対策の検討を進めるとともに、子どもたちが夢や目標を持ち「生きる力」を育む体験事業の実施に取り組んでいく。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
 単位施策 01 個性と能力が伸びる授業をつくる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

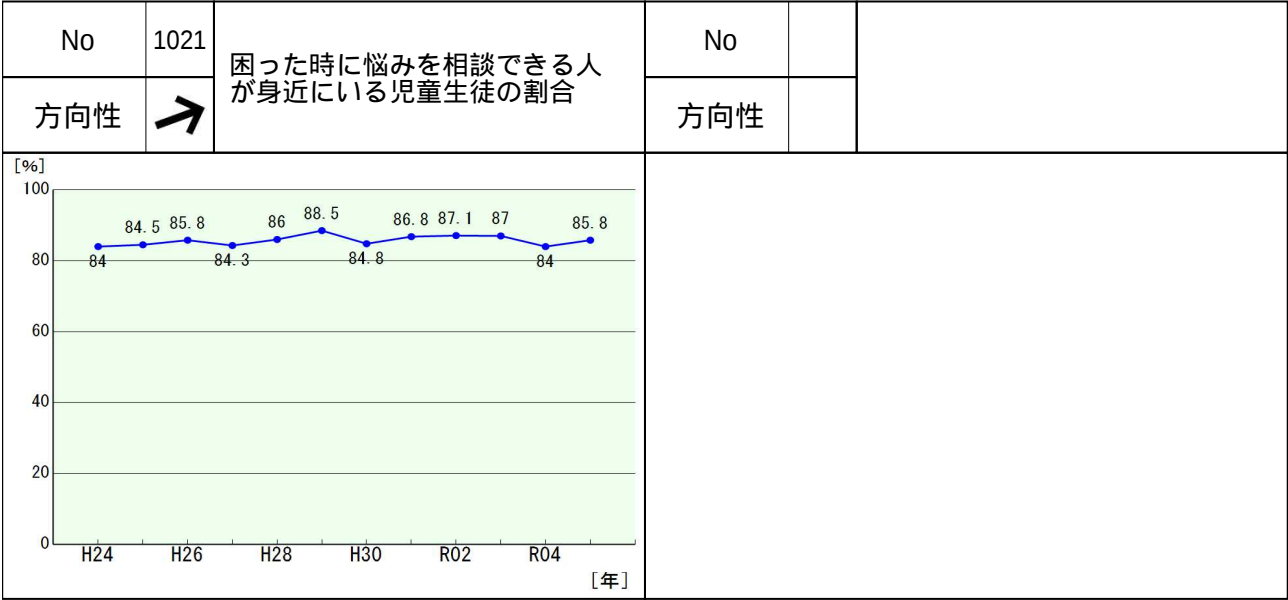
単位施策の評価

「学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合」は基準値から改善したが、「好きな授業がある児童生徒の割合」は低下しており、単位施策は横ばいで推移した。
 経験年数に応じた幅広い研修を実施し、教職員の資質向上が図られ、授業改善に向けた取り組みが実施されたことにより、小学校では「分かりやすい」と実感する授業につながったが、学習内容が難しくなる中学校において、好きな授業があるとした生徒の割合がやや減少した。
 7次計画においても、教職員のニーズや課題に応じた研修を企画し、児童生徒が「好き、分かりやすい」と実感できる授業作りができるよう、専門性の高い講師の発掘に努め、教職員全体の指導力向上を図っていく。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
単位施策 02 いじめ・不登校対策を充実させる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

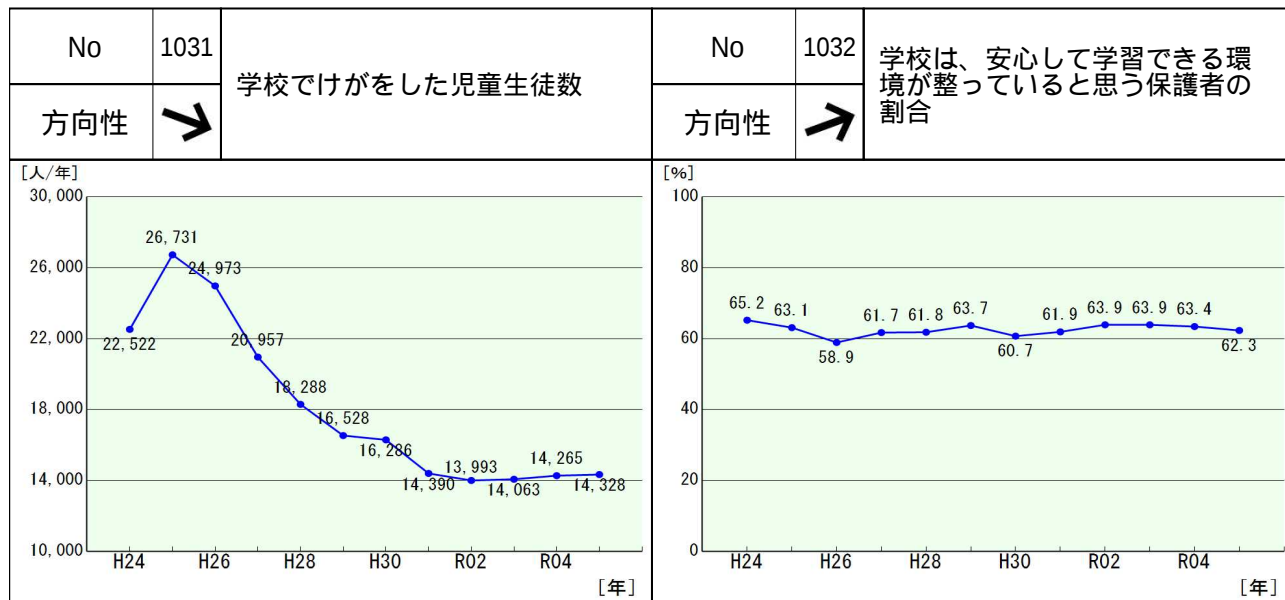
単位施策の評価

成果指標は基準値を上回った年度もあったものの、単位施策は概ね横ばいで推移した。
心の相談員やスクールカウンセラーの配置、不登校傾向にある子どもたちの自立支援としての適応指導教室に加え、令和2年度より配置したスクールソーシャルワーカーなど、段階に応じた多面的な取り組みにより、いじめ・不登校対策に取り組むことによる成果がある一方で、課題のある児童生徒は増加しており、家庭環境や養育の状況が複雑化するなど、必要な支援が多様化していることから、対策のさらなる充実が必要となっていると考える。
7次計画では、引き続き関係機関と連携し、不登校の未然防止・早期対応・自立支援に努めるとともに、各支援対策が連携し、より効果を発揮できるように取り組んでいく。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
 単位施策 03 快適で安全な学校生活を充実させる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

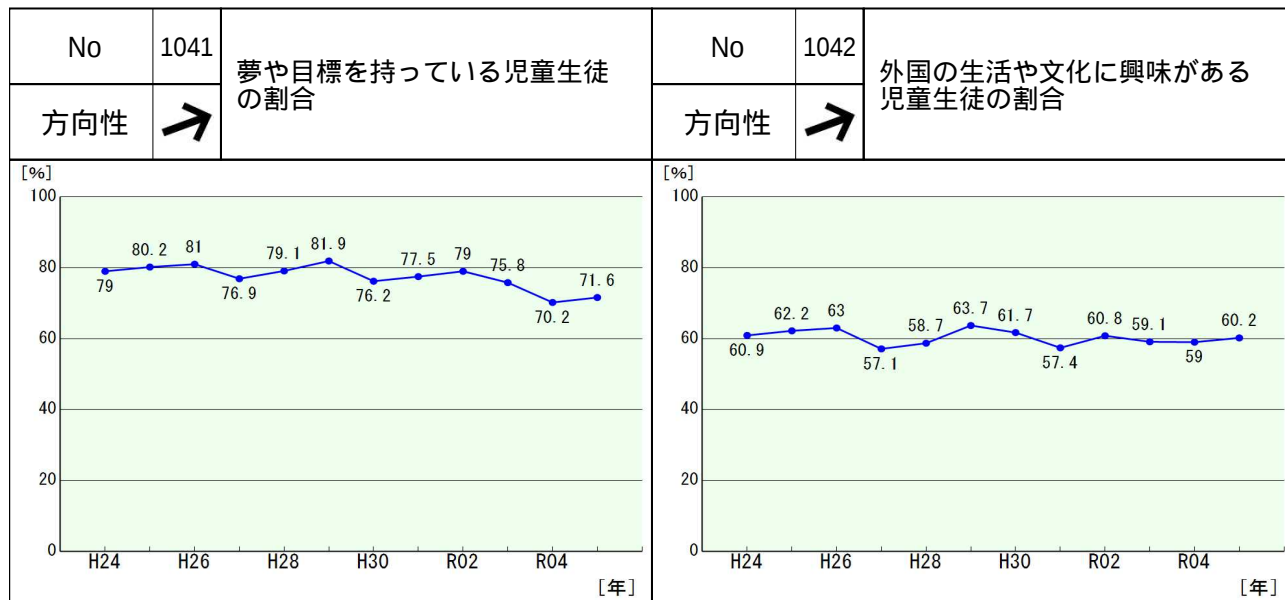
単位施策の評価

成果指標2指標のうち、1指標は基準値から順調に向上しているが、1指標は基準値から低下しており、単位施策は横ばいで推移した。
 「学校でけがをした児童生徒数」は基準値から減少し、サポーター等の配置による支援や、学校施設長寿命化計画を策定し、計画的な施設等改修を実施してきた効果と考える。一方、「学校は、安心して学習できる環境が整っていると思う保護者の割合」は基準値から低下し、老朽化に伴う対策の必要な施設等が依然として多くあることが要因と考える。
 7次計画では、学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化している施設等の計画的な改修・建替えや、設備の維持管理及び更新に取り組んでいく。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
単位施策 04 出会いと体験の場を提供する

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

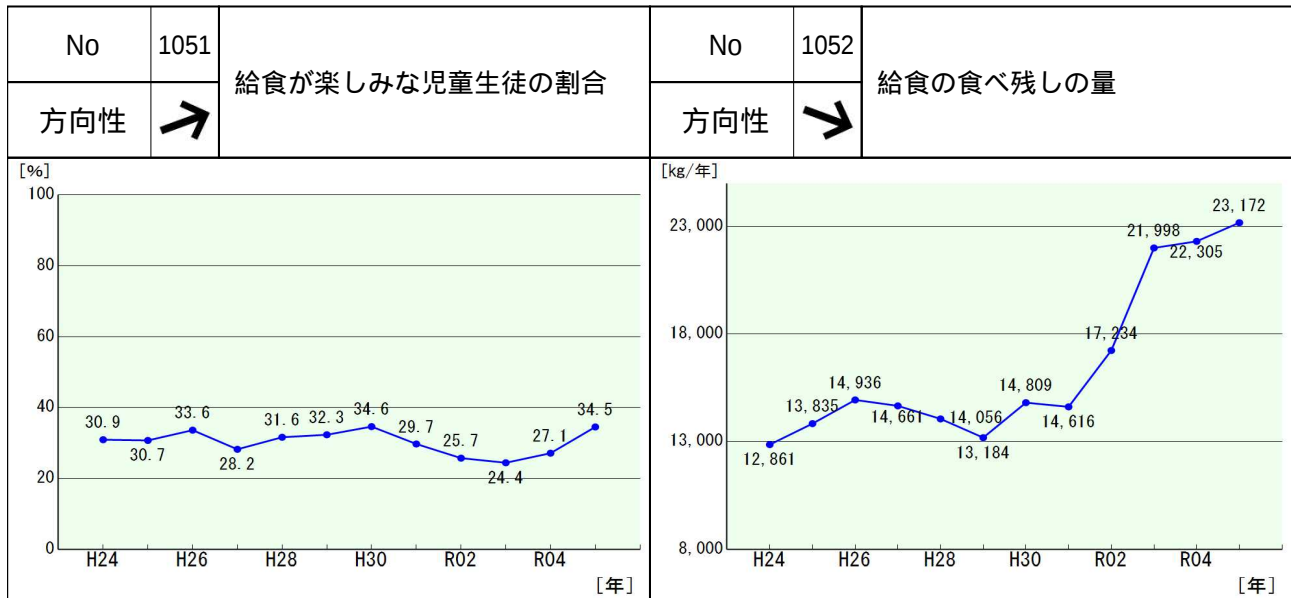
単位施策の評価

成果指標2指標とも基準値から低下しており、単位施策は順調に進展しなかった。
「夢や目標を持っている児童生徒の割合」については、コロナ禍により学校行事等の活動を縮小・自粛したことで、挑戦する意欲や能力を開発する機会が減少したこと、デジタル化の進展による体験機会の減少や関心のある情報だけに触れ、幅広い情報に触れる機会が減少したことによるものと考えられる。
7次計画においては、子どもたちが異なる文化や歴史に触れることで視野を広げ、夢や目標を描くことができるように、姉妹都市交流や体験事業の充実に取り組んでいく。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
 単位施策 05 食の大切さと楽しさを理解させる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

「給食が楽しみな児童生徒の割合」は基準値より向上しているものの、「給食の食べ残しの量」は、基準値より低下しており、単位施策は順調に進展しなかった。

「給食が楽しみな児童生徒の割合」は、コロナ禍による黙食から緩和され会話を楽しむことが出来るようになり改善し、「給食の食べ残しの量」は、インフルエンザ等の感染症による急な欠食等及び食事時間の減少、食べ残し指導の変化により残食の量が増加したと考える。

7次計画では、献立の工夫等、児童生徒にとって魅力のある献立を充実させ、食べることで健康な体になるなどの食育指導を継続的に行い、児童生徒の給食への興味、食べる意欲を高める取り組みを実施していく。

章 02 人づくり・心そだて

理念 ふれあい

節 01 学校教育

施策 11 学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える

施策主管課【学校教育課】

めざすまちの姿

子どもの健全な成長に対して、学校、家庭、地域などが連携している

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

学校、家庭、地域が連携して、地域全体で子どもの教育を担っていきます。
地域との関わりをとおして、遊びやさまざまな人とのふれあいから、思いやりや責任感を身につけ、社会の担い手となれる教育を進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	地域に開かれた学校をつくる	7,716	6,848
02	笑顔と愛にあふれる子どもを地域の連携で育てる	24,997	22,929
施策合計		32,713	29,777

まちづくり指標の分析

No	0016	地域の人で学校教育に関わった 人の数
方向性	➡	

[人/年]
4,500
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000

H24	H26	H28	H30	R02	R04
-----	-----	-----	-----	-----	-----

[年]

No	0017	子どもの教育について学校、家 庭、地域の連携が十分にでき ていると思う人の割合
方向性	➡	

[%]
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0

H24	H26	H28	H30	R02	R04
-----	-----	-----	-----	-----	-----

[年]

対基準値:339人減 / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率: -27.7% 要因: 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域住民の活動を縮小・中止したことで減少したが、順調に回復してきているものとする。		
--	--	--

対基準値:横ばい / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:0.0% 年齢別:差異有、職業別:差異有、学区別:差異有 要因:学校活動への参画が進んだものの、理解を深める機会が少なかったものとする。		
---	--	--

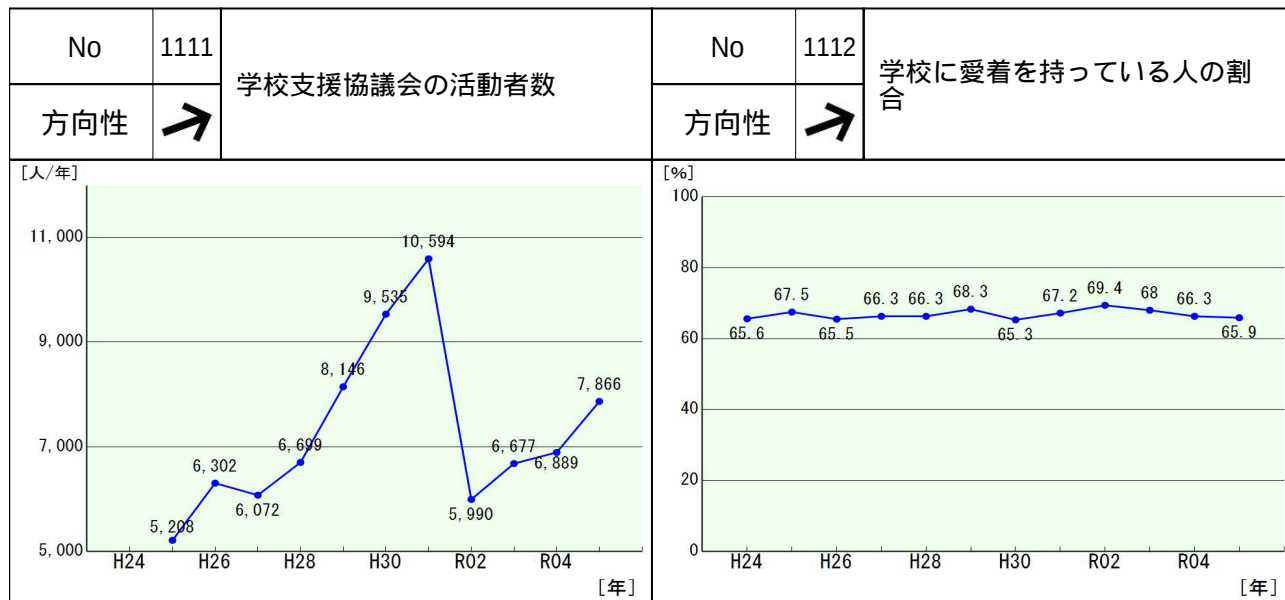
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「学校教育に関わった人の数」は基準値から低下、「連携が十分にできていると思う人の割合」は基準値と横ばいであるが、単位施策は順調に進展しており、施策は横ばいで推移した。
「学校教育に関わった人の数」は、コロナ禍において関連事業を縮小・中止していたがその後は順調に回復しており、「連携が十分にできていると思う人の割合」は、学校支援協議会の活動や子ども教室等の実施により学校と家庭や地域との連携に対する理解は進んだものの、学校活動への理解を深める機会が少なかったものと考える。
7次計画では、学校運営協議会制度や、部活動の地域移行の推進等を通して、将来にわたって地域で子どもの成長を見守り、支える意識の向上に向けて取り組んでいく。

施策 11 学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える
 単位施策 01 地域に開かれた学校をつくる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標のうち1指標は基準値から改善し、1指標は横ばいであることから、単位施策は概ね順調に進展した。

「学校支援協議会の活動者数」については、コロナ禍で下がったものの順調に回復しており、地域や保護者の学校運営への参画が浸透してきたと考える。「愛着を持っている人の割合」については、学校支援協議会のボランティア活動などを通じて、地域や保護者と連携した活動を進めてきた成果があるものの、社会情勢の変化により数値が伸び悩んだものとする。

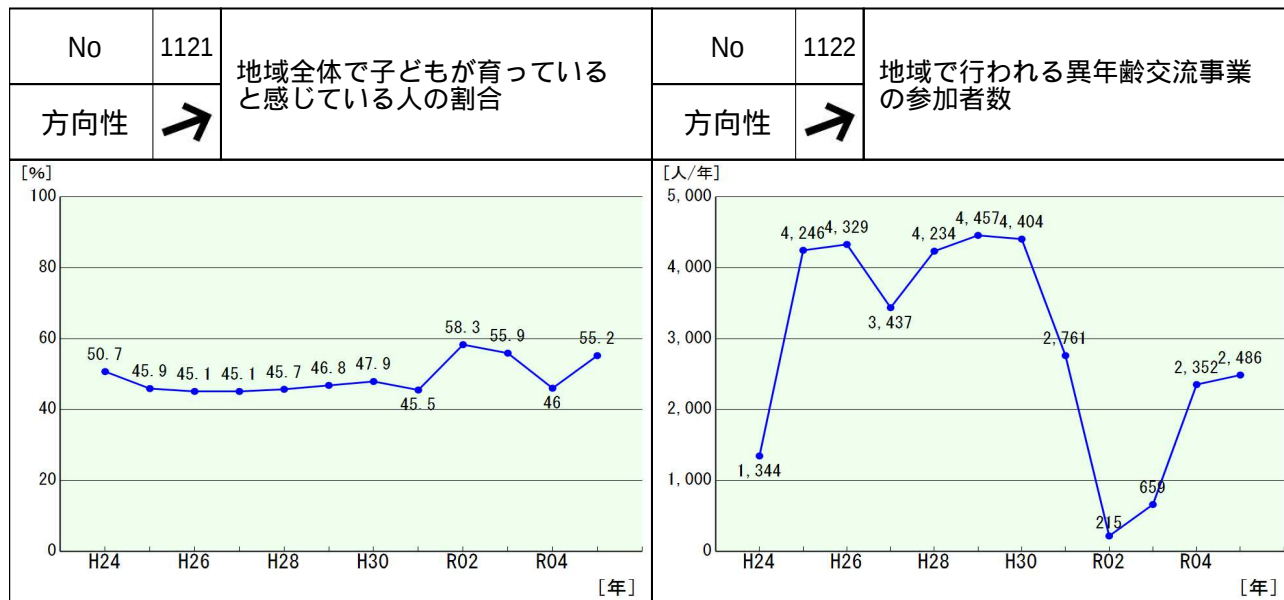
7次計画では、学校運営協議会制度を通して、地域や保護者の学校運営への支援及び協力を促進することにより、地域とともにある学校づくりに取り組んでいく。

施策 11 学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える

単位施策 02 笑顔と愛にあふれる子どもを地域の連携で育てる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

成果指標2指標とも基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。

「地域全体で子どもが育っていると感じている人の割合」は、平成30年度から開始した学習支援教室の実施や、令和4年度から子ども教室を拡充して実施したことにより向上したと考える。「地域で行われる異年齢交流事業の参加者数」は、ふれあい交流推進事業などの継続的な実施によるものとする。

7次計画では、異年齢交流を推進する事業の取り組みや、こども教室等地域全体で子どもの健全な成長を支えていける事業を引き続き実施していく。

章 02 人づくり・心そだて
節 02 社会教育

理念 いきいき

施策 12 青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる

施策主管課【社会教育課】

めざすまちの姿

青少年が地域や社会のなかで健全に成長している

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

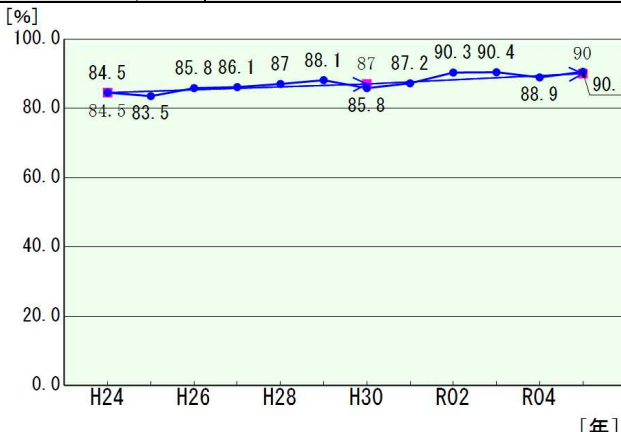
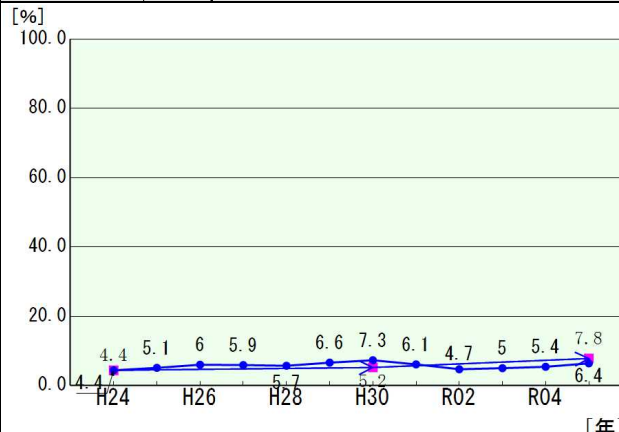
さまざまな人との交流をとおして、社会性を身につけ、個性や能力を発揮して、主体的に判断・行動できる青少年の育成に努めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	青少年が活躍する場をつくる	5,112	4,995
02	青少年の非行を防止する	5,998	5,598
施策合計		11,110	10,593

まちづくり指標の分析

No	0018	No	0019
方向性	→ 家庭で安らいでいると感じている青少年の割合	方向性	→ 青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合
			
対基準値:6.0ポイント増/基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:109.1% 年齢別:差異無、職業別:差異有 要因:家庭等における青少年の見守りによる効果と想定。家庭と関わりが深い学生が高い。		対基準値:2.0ポイント増/基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:58.8% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:街頭パトロール活動の推進により微増していると想定。地域との関わりが強い自営業が高い。	

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「家庭で安らいでいると感じている青少年の割合」はめざそう値を達成し、「青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合」は達成率が58.8%であったことから、施策は順調に進展した。

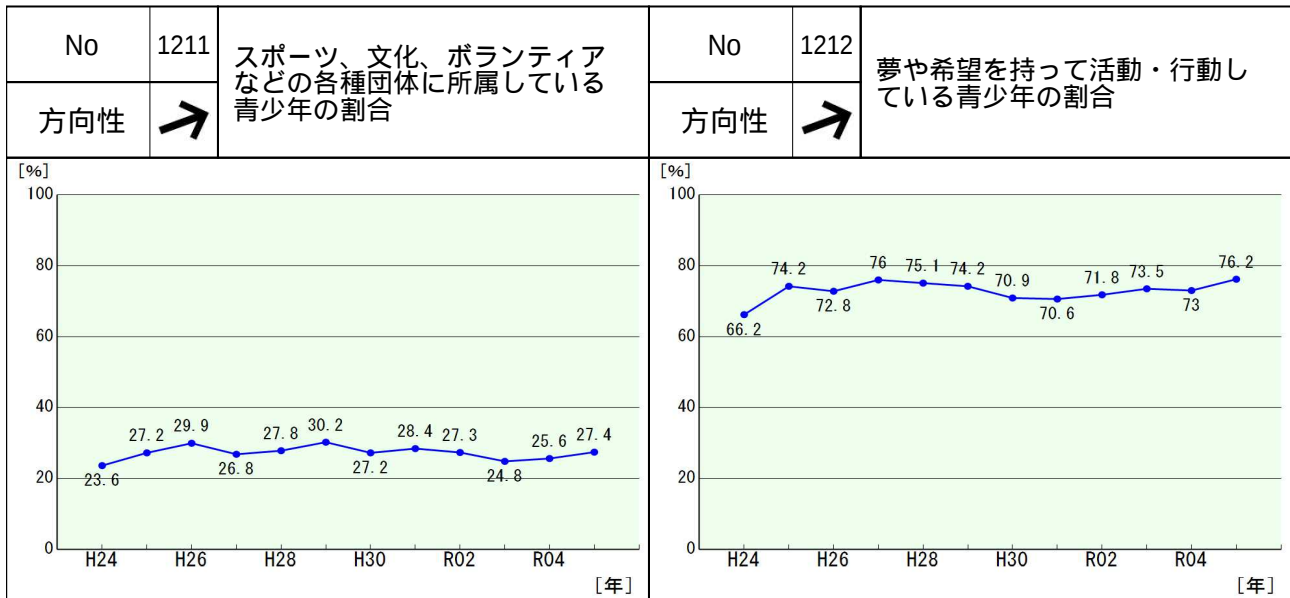
コロナ禍においても、20歳の集いを2部制として開催するなど、社会環境の変化に的確に対応したことや、街頭パトロール活動、有害環境浄化活動、非行防止啓発チラシの配布やスマホ等のトラブル防止に関する市内小中学校への出前教室など、地域や学校等が一体となり青少年の見守りを継続的に行ってきたこと等による効果と考える。

7次計画においても、地域等と協力し、青少年の健全育成の支援に取り組んでいく。

施策 12 青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる
 単位施策 01 青少年が活躍する場をつくる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

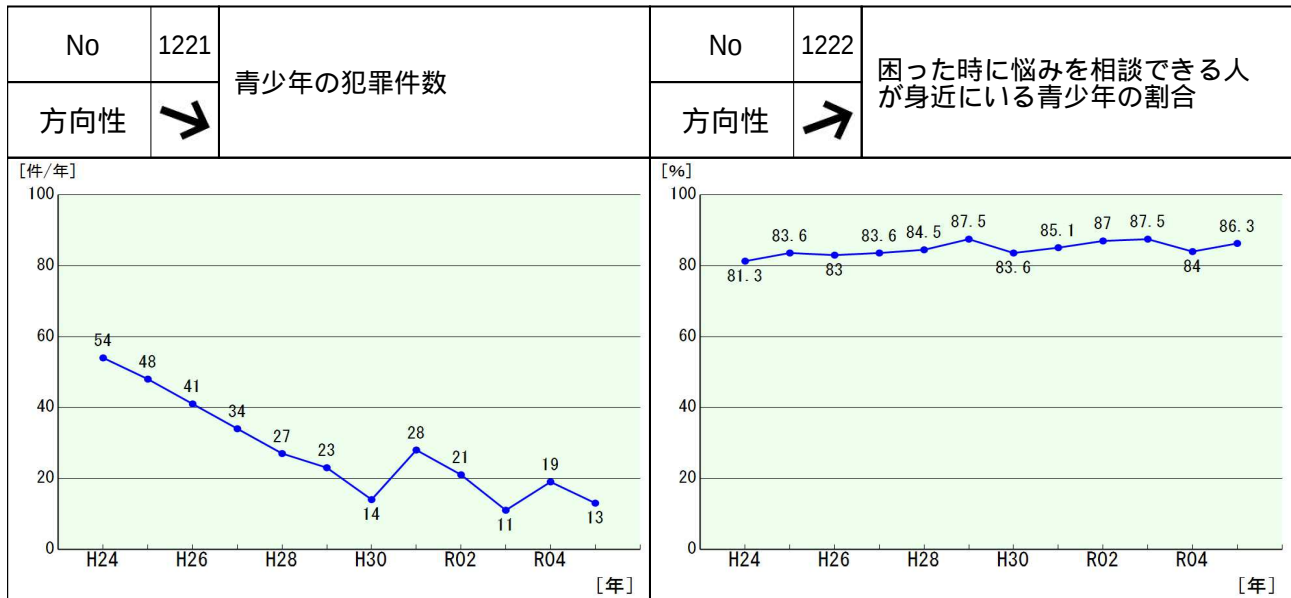
成果指標2指標とも基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。
 「スポーツなどの各種団体に所属している青少年の割合」は、市内で展開しているスポーツ等各種団体の活動が魅力的であること、周知等の効果が出ているものとする。「夢や希望を持って活動・行動している青少年の割合」は、実施方法の見直しはあるものの、20歳の集いなど、青少年が夢や希望が持てるように支援する事業を継続的に実施してきた成果であるとする。

7次計画でも、社会環境の変化に適切に対応し、20歳の集い開催事業や青少年育成に関する事業等の取り組みを引き続き実施していく。

施策 12 青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる
 単位施策 02 青少年の非行を防止する

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から順調に推移しており、単位施策は順調に進展した。

「青少年の犯罪件数」は基準値より41件（76％）減少しており、青少年育成センターにおける非行防止啓発や、関係機関への周知や連携、パトロールの強化等の成果と考える。また、「悩みを相談できる人が身近にいる青少年の割合」は基準値より5ポイント向上しており、地域や学校等が一体となり青少年を見守るとともに、居場所づくりや大人との交流の場となる環境を整えてきたことが指標の改善につながったと考える。

青少年の非行を未然に防ぎ、また、青少年が地域社会で健やかに育つため、7次計画では関係機関との連携を強固にし、青少年の健全育成に取り組んでいく。

章 02 人づくり・心そだて
節 02 社会教育

理念 ふれあい

施策 13 マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる

施策主管課【社会教育課】

めざすまちの姿

正しいマナーを子どもが身につけており、その習慣が次世代にも継承されている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

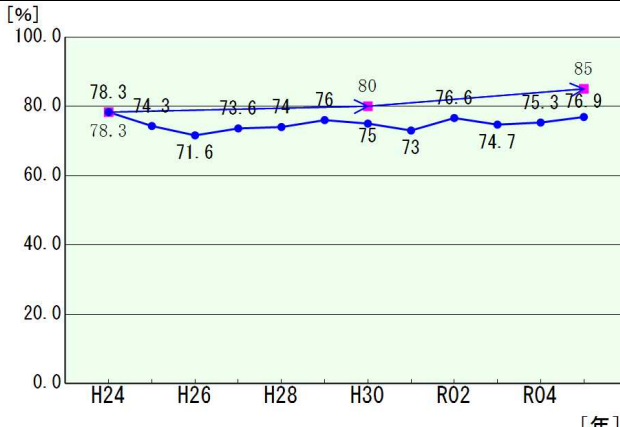
さまざまな体験や人とのふれあい、ボランティア活動などをおして、社会性を身につけ、人を思いやる心を育てます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	子どもが社会性を身につけ思いやる心を育てる	0	0
02	思いやり感謝し親切にできる地域をつくる	805	805
施策合計		805	805

まちづくり指標の分析

No	0020	この1年で人に親切にしたことのある人の割合	No				
方向性	➡		方向性				
							
対基準値:1.4ポイント減 / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率: -20.9% 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地区別: 差異有 要因: 地域における人間関係の希薄化が要因と想定。 社会との関わりが多い世代、職業が高い。							

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

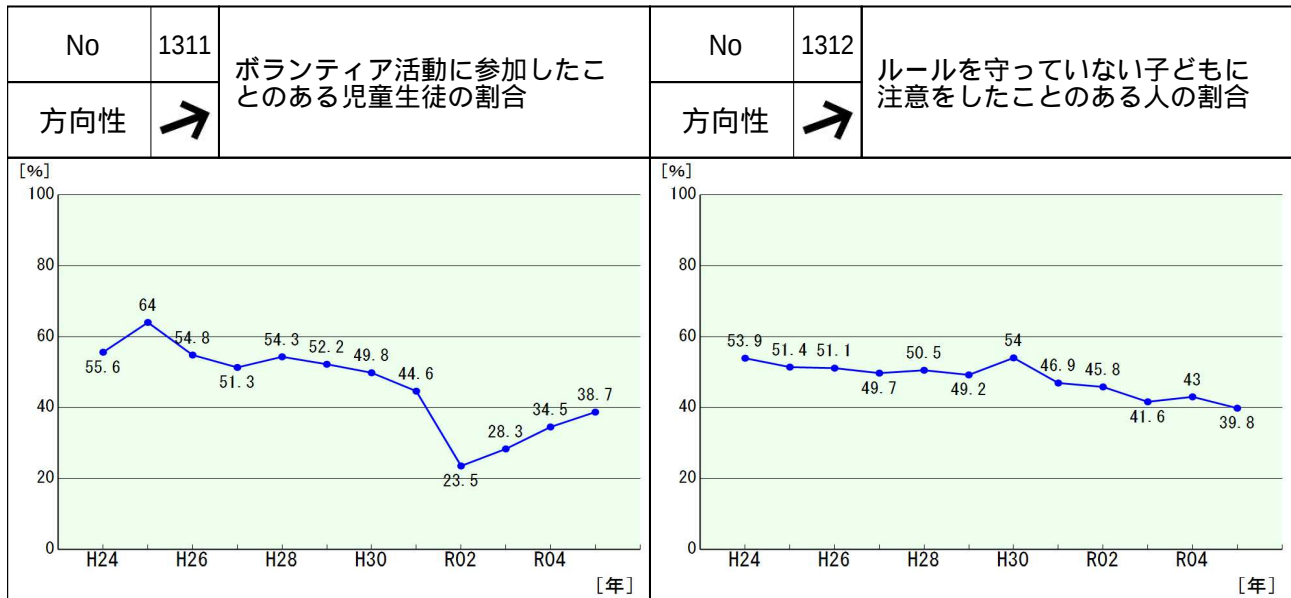
まちづくり指標は、基準値から低下しており、施策は順調に進展しなかった。
年齢別にみると、10代が最も高く、年齢が上がるにつれて低下する傾向であることから、学校や家庭等で親切にすることを教えられたことが、年数を重ねることで希薄化していることが要因の一つと考える。
7次計画では、地域社会との関わりの中で、正しいマナーや習慣を多世代で学べるよう、啓発等に取り組んでいく。

施策 13 マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる

単位施策 01 子どもが社会性を身につけ思いやる心を育てる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標とも基準値から悪化しており、単位施策は順調に進展しなかった。

「ボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合」は、学校等における活動機会が減少してきたことが背景として低下したものとする。「ルールを守っていない子どもに注意をしたことのある人の割合」は、世帯の就労環境の変化など、地域の子どもの関わる時間が短くなったことなどにより低下したものとする。

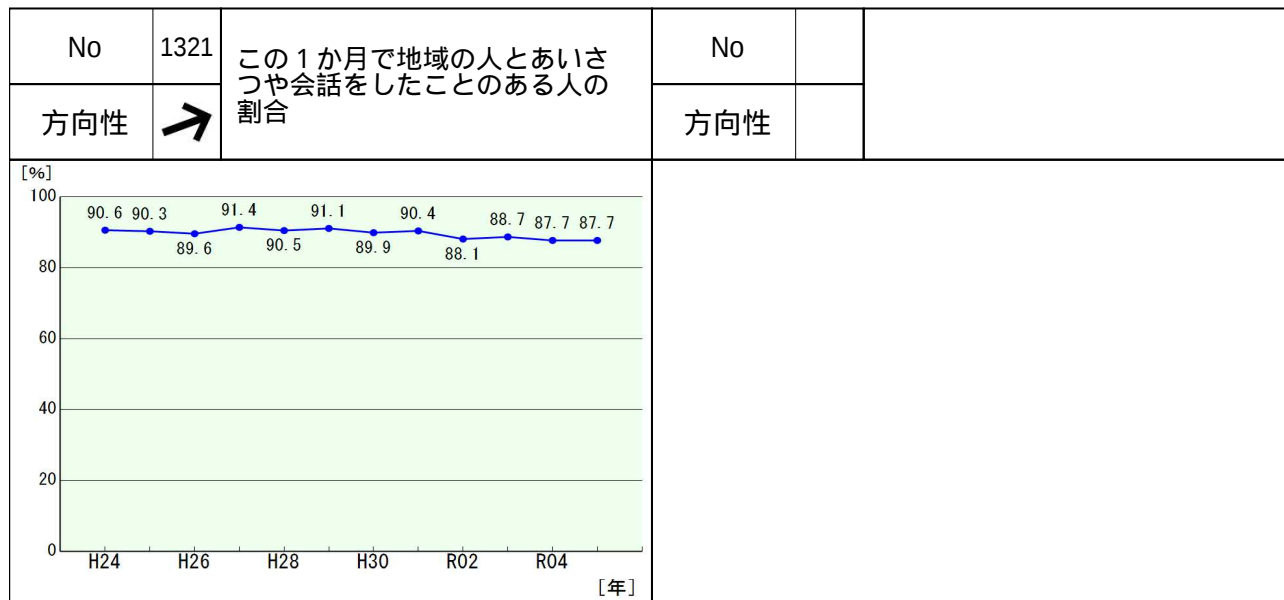
7次計画では、家庭、地域及び学校の連携強化を図り、ボランティア活動への参加機会を提供するとともに、地域全体で子どもの社会性や思いやる気持ちを育てる意識の向上を図っていく必要がある。

施策 13 マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる

単位施策 02 思いやりに感謝し親切にできる地域をつくる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

--	--	--	--	--	--

単位施策の評価

成果指標1指標は、基準値からの変化が少なく、単位施策は横ばいで推移した。

「この1か月で地域の人とあいさつや会話をしたことがある人の割合」は、6次総合計画期間において若年層では基準値より低下しているものの、他の世代は高い水準で推移しており、学校及び地域の連携によるあいさつ運動が、身近な取り組みとして浸透し、一定の効果を出していると考えられる。

7次計画では、子どものうちからあいさつや会話などをする習慣や、社会性や人を思いやる心の大切さを、家庭教育推進事業などをとおして啓発するとともに、定着を図っていく。

章 02 人づくり・心そだて

理念 いきいき

節 02 社会教育

施策 14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる

施策主管課【社会教育課】

めざすまちの姿

楽しみや生きがいを感じて学習や余暇活動に取り組んでいる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

市民の自主的・主体的な学習活動によって、生きがいを持つことができるよう、さまざまな学習の機会や情報を提供します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	学び教え合う学習活動を充実させる	1,474,921	560,507
02	読書に親しみ楽しむ機会を増やす	212,060	210,886
施策合計		1,686,981	771,393

まちづくり指標の分析

No	0021	生涯学習を行っている人の割合	No		
方向性	➔		方向性		
[%] [年]					
対基準値:1.4ポイント増 / 基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:19.4% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:学習時間の制約が要因と想定。学生など比較的時間に余裕のある世代や職業は高い。					

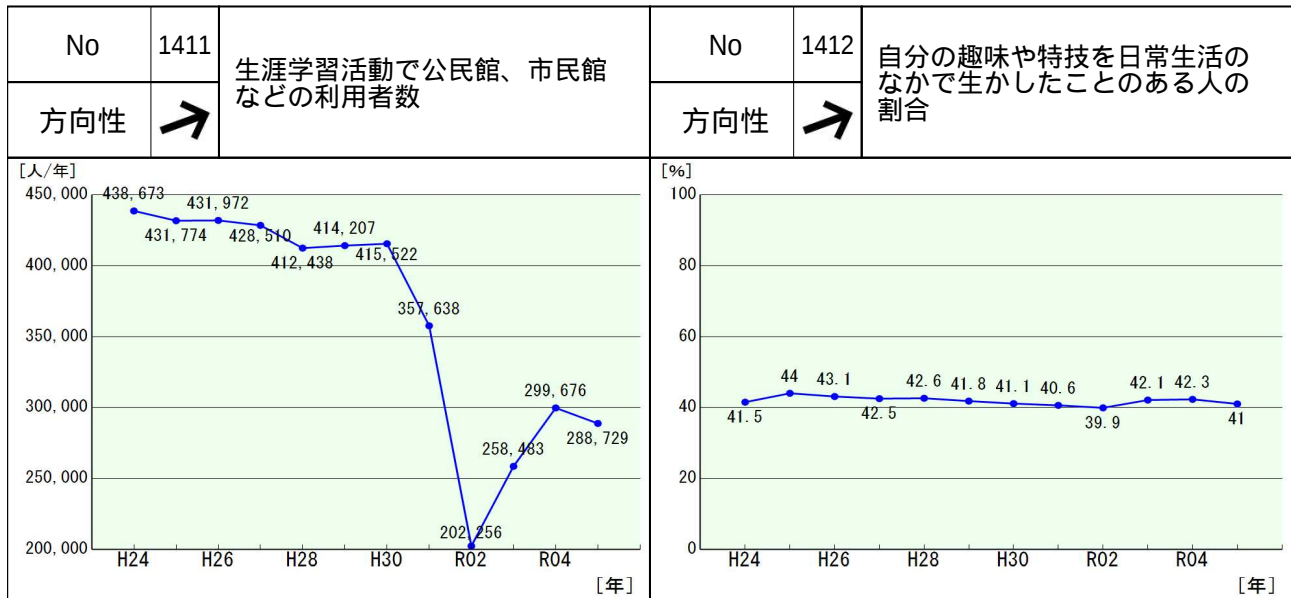
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標の達成率は19.4%だったことから、施策は横ばいで推移した。
 地区公民館・市民館での講座や地域サロンカフェの開催、中央図書館での読み聞かせボランティア講座やお話友の会の開催など、6次計画期間をとおして各種事業を展開してきたが、市民の生涯学習活動に関する意欲の向上に十分につながらなかったと考える。
 7次計画では、市民の学習ニーズを的確にとらえ、新たな学びの機会と場の提供、利用しやすい図書館サービスや読書環境の充実を目指していく。

施策 14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる
 単位施策 01 学び教え合う学習活動を充実させる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

「生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数」は基準値から低下、「自分の趣味や特技を日常生活のなかで生かしたことがある人の割合」は横ばい傾向であることから、単位施策は横ばいで推移した。

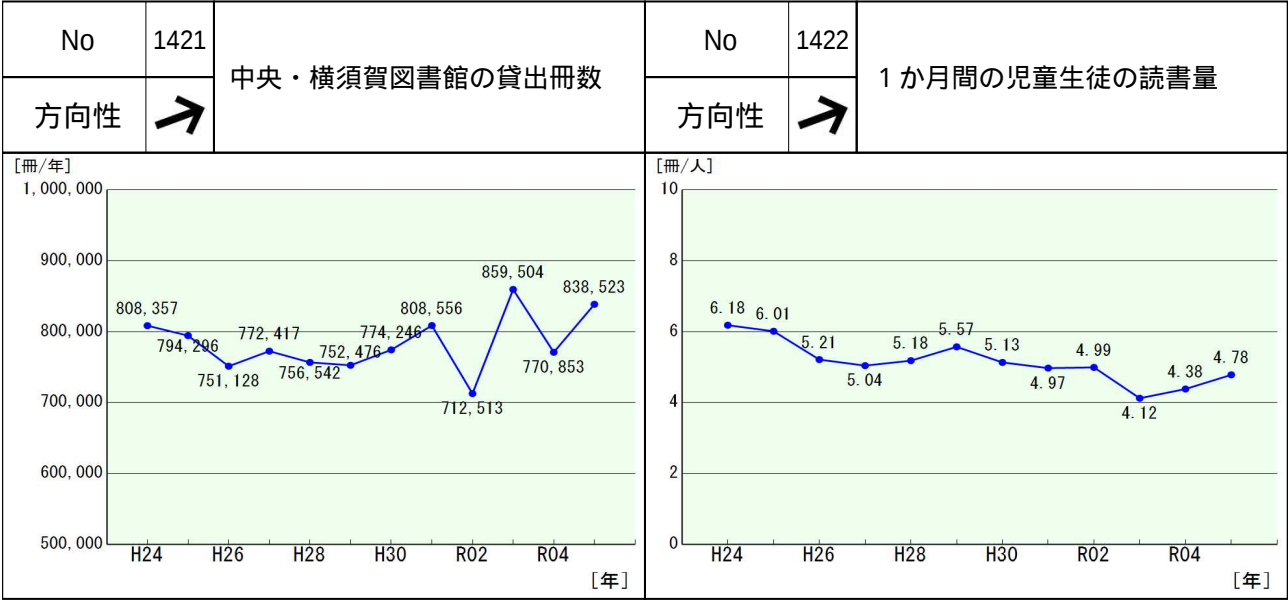
「生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数」は、文化センターの廃止により、低下したと考える。「自分の趣味や特技を日常生活のなかで生かしたことがある人の割合」は、自主サークルなどが利用者の高齢化等による活動規模の縮小が低下の一因であると考え。

7次計画では、地域住民の学習ニーズの把握を適切に行い、必要な学習機会の場の提供と、自主的な学習活動を支えるための環境整備等に取り組んでいく。

施策 14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる
単位施策 02 読書に親しみ楽しむ機会を増やす

単位施策主管課【中央図書館】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標のうち「貸出冊数」は基準値からやや改善しているが、「児童生徒の読書量」は基準値から低下しており、単位施策は順調に進展しなかった。
平成31年1月の横須賀図書館開館、令和元年度からの貸出上限冊数引き上げ（10冊→20冊）により貸出冊数が増加した年度があったものの、新型コロナウイルス感染症の影響や老朽化対策として実施の改修工事に伴う臨時休館による開館日数の減少や、スマートフォンの普及・インターネット利用の増加による読書時間の減少や情報の取得方法の変化が原因と考える。
7次計画においては、よりだれもが利用しやすい図書サービスの提供に努め、読書を楽しみながら学ぶ環境の充実を図っていく。

章 02 人づくり・心そだて
節 03 スポーツ

理念 いきいき

施策 15 だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる

施策主管課【スポーツ課】

めざすまちの姿

気軽にスポーツを楽しんでいる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

市民にスポーツの楽しさや大切さを広め、だれもがスポーツに親しめる環境を整備します。
また、市民がいきいきとした生活を送ることができるよう、各種スポーツ活動をとおして、健康づくりを進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	スポーツに親しむ機会を提供する	617,077	603,138
02	スポーツで活躍する人を支援する	6,579	6,429
施策合計		623,656	609,567

まちづくり指標の分析

No	0022	市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数														
方向性	➡															
[回/人・年]																
<table><thead><tr><th>年</th><th>回/人・年</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>6.4</td></tr><tr><td>H26</td><td>6.1</td></tr><tr><td>H28</td><td>6.4</td></tr><tr><td>H30</td><td>6.8</td></tr><tr><td>R02</td><td>5.0</td></tr><tr><td>R04</td><td>6.2</td></tr></tbody></table>			年	回/人・年	H24	6.4	H26	6.1	H28	6.4	H30	6.8	R02	5.0	R04	6.2
年	回/人・年															
H24	6.4															
H26	6.1															
H28	6.4															
H30	6.8															
R02	5.0															
R04	6.2															
〔年〕																
対基準値:0.2回減 / 基準値からの推移: × 10年後めざそう値達成率: -12.5% 要因: 市民体育館アリーナの床面の張替及び照明機器のLED化の工事のため長期間利用ができなかったことによるもの。																

No	0023	スポーツを実践している人の割合														
方向性	➡															
[%]																
<table><thead><tr><th>年</th><th>%</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>51.1</td></tr><tr><td>H26</td><td>48.7</td></tr><tr><td>H28</td><td>49.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>49.4</td></tr><tr><td>R02</td><td>50.4</td></tr><tr><td>R04</td><td>52.2</td></tr></tbody></table>			年	%	H24	51.1	H26	48.7	H28	49.3	H30	49.4	R02	50.4	R04	52.2
年	%															
H24	51.1															
H26	48.7															
H28	49.3															
H30	49.4															
R02	50.4															
R04	52.2															
〔年〕																
対基準値:1.1ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率: 15.9% 年齢別: 差異有、職業別: 差異無、地区別: 差異無 要因: 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行によるスポーツイベントや教室の再開によると想定。																

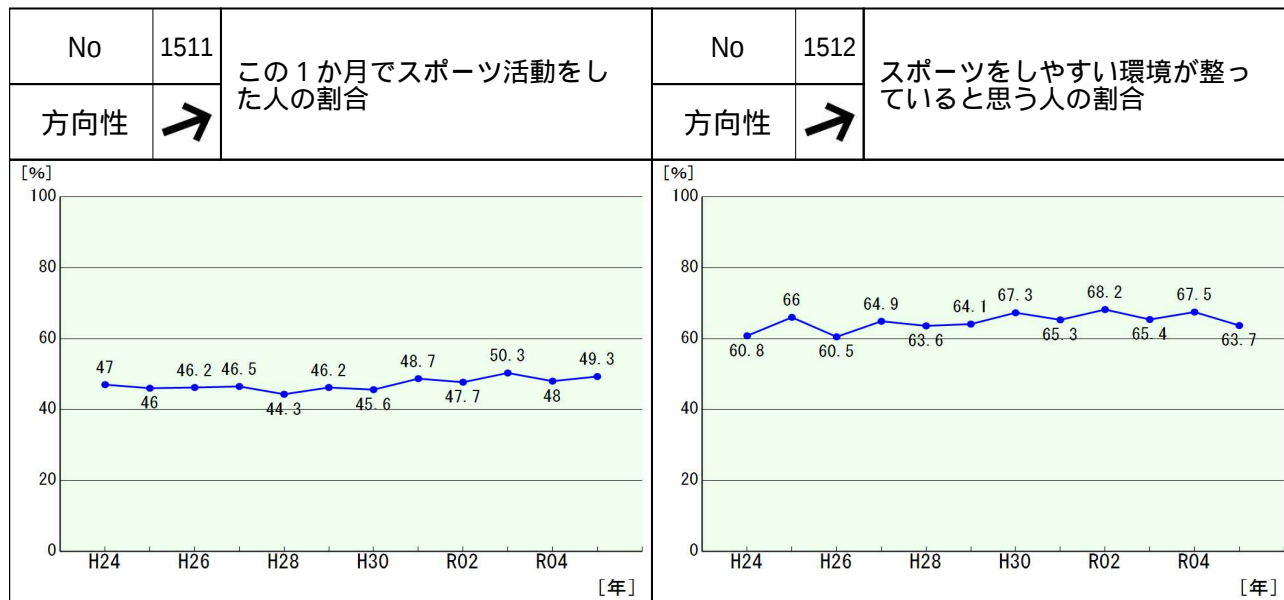
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「施設の利用回数」は基準値から低下、「実践している人の割合」はめざそう値達成率が15.9%であるものの、単位施策は順調に進展していることから、施策は横ばいで推移した。
市民体育館及び運動公園の整備に取り組んできたものの、多様化する市民ニーズへの十分な対応には至っておらず、「施設の利用回数」は基準値から改善しなかった。また、「実践している人の割合」も、各種事業を実施しているものの、仕事や家事で忙しいことなどから、スポーツに取り組む意識の醸成につながっていないものと考え。
7次計画では、スポーツに関わる人を増やし、健康で活力のあるまちづくりに貢献できるよう、各種スポーツ事業の充実と、安全に快適に利用できるスポーツ環境を整備していく。

施策 15 だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる
 単位施策 01 スポーツに親しむ機会を提供する

単位施策主管課【スポーツ課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は、2指標とも変化は少ないものの基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。

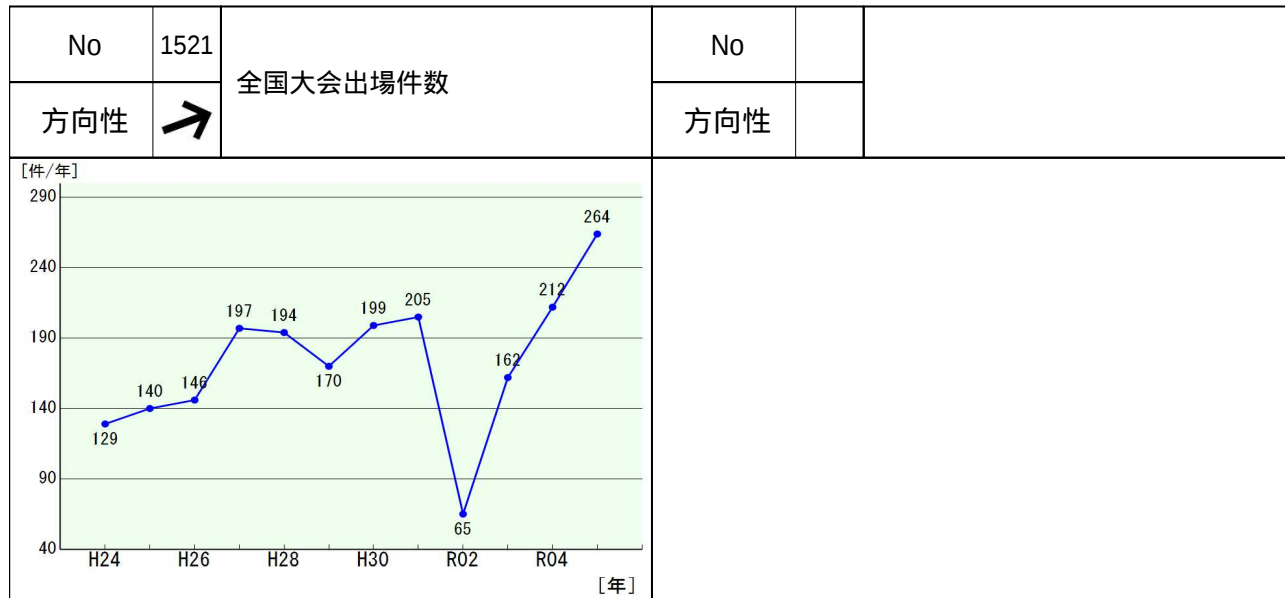
「この1か月でスポーツ活動をした人の割合」については、東海ハーフマラソンの開催や、スポーツクラブ東海と連携して市民ニーズに応じた教室や事業等を展開したことが影響していると考え。「環境が整っていると思う人の割合」について、各スポーツ施設の整備のみならず、身近な公園での事業展開や学校のスポーツ開放等の実施が影響していると考え。

7次計画では、本市の現状や課題を踏まえ、市民一人ひとりがスポーツに興味・関心を持てるように働きかけ、多面的に参加しやすい環境をつくっていく。

施策 15 だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる
 単位施策 02 スポーツで活躍する人を支援する

単位施策主管課【スポーツ課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。
 成果指標の改善は、全国大会出場者に対して行う激励制度の定着やオリンピック出場選手の応援事業の実施が影響していると考える。
 7次計画では、引き続きふるさと大使である地元企業スポーツチームなどと連携した試合観戦やスポーツ教室を開催するとともに、全国大会や世界大会等に出場する個人や団体に対し、激励会を開催するなど、アスリート活動を支援していく。

章 02 人づくり・心そだて
 節 04 文化
 施策 16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる

理念 いきいき

施策主管課【文化芸術課】

めざすまちの姿

文化に親しみ心豊かな生活を送っている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

市民が積極的に参加できる文化事業を開催し、個性豊かな文化を振興します。
 また、芸術劇場を拠点として公民館・市民館などさまざまな場で、文化による交流を促し、まちのにぎわいづくりに貢献します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	市民の文化芸術活動を支援する	9,173	9,173
02	感動が生まれる文化芸術を提供する	460,867	445,790
施策合計		470,040	454,963

まちづくり指標の分析

No	0024	文化・芸術活動を行っている人の割合	No		
方向性	➔		方向性		
[年]					
対基準値:1.2ポイント増/基準値からの推移:○ 10年後のめざそう値達成率:22.2% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:学生や主婦等、比較的時間的に余裕があり、文化芸術活動に触れる機会が多い人が高い。					

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「文化・芸術活動を行っている人の割合」のめざそう値達成率は22.2%であるが、単位施策の成果動向が横ばいや順調であることから、施策は概ね順調に進展した。

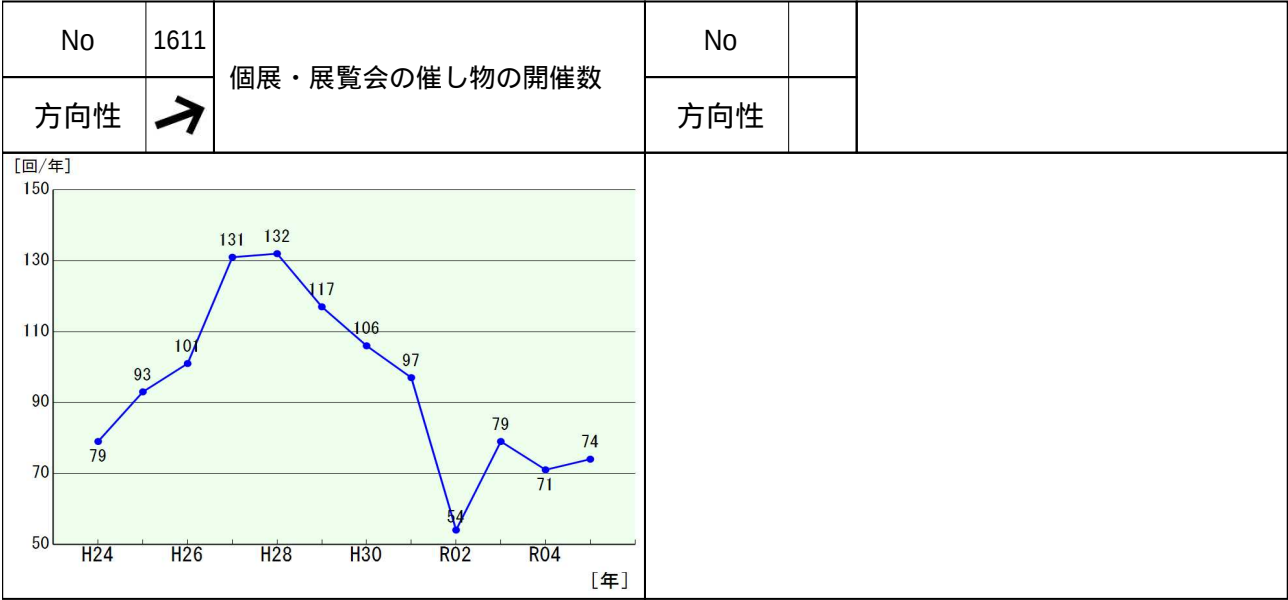
平成27年度の芸術劇場の開館により、市民が参加可能なワークショップ等の活動や、上質な文化芸術鑑賞の機会の提供を継続的に実施してきた。これにより、市民の文化芸術への関心が高まり、「事業への参加者数」や「文化活動が盛んなまちだと思ふ人の割合」の改善につながったと考える。

7次計画では、市民が気軽に文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、子どもたちにも上質な文化芸術を継続的に提供することで、文化・芸術に参加できる環境を目指していく。

施策 16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる
単位施策 01 市民の文化芸術活動を支援する

単位施策主管課【文化芸術課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

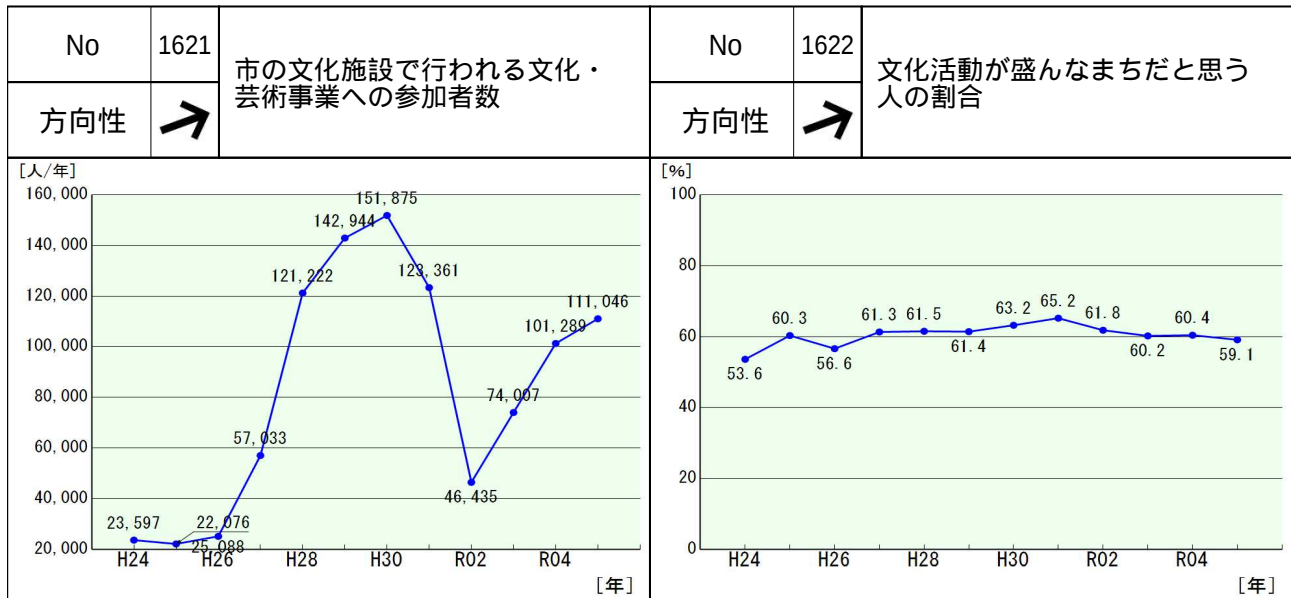
成果指標は、基準値に近い数値で推移したものの届かず、単位施策は横ばいで推移した。
「個展・展覧会の催し物の開催数」については、令和元年以降、市内施設の臨時休館や施設利用の制限の影響を受けて開催を中止したり規模を縮小したりする団体等が増加し、その結果活動を再開しない団体も多く、横ばいの推移につながったと考える。また、学業をはじめとした様々な活動がコロナ禍以前に戻ったことにより、文化芸術活動に割く時間が減少したことも要因の一つであると考えます。
7次計画では、引き続き、市内各所で多くの人が気軽に文化芸術活動に参加し、さらに気軽に作品の制作体験や鑑賞ができるよう、文化芸術活動の支援を続けていく。

施策 16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる

単位施策 02 感動が生まれる文化芸術を提供する

単位施策主管課【文化芸術課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標とも基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。

「文化・芸術事業への参加者数」は、芸術劇場の開館以降、芸術劇場を中心に市内各所で、鑑賞機会の提供やアウトリーチ等の様々な事業を展開してきたことが影響していると考え。

「文化活動が盛んなまちだと思う人の割合」は、10代及び20代で継続的に高水準で推移しており、学業等において文化芸術活動に触れる機会の多い世代を中心に活発化していると考え。

7次計画では、市民が文化芸術に高い関心を持ち、気軽に触れ合い関わる機会を継続して提供していけるよう、芸術劇場をはじめ市内各所で上質な文化芸術事業の提供に取り組んでいく。

章 02 人づくり・心そだて
 節 05 文化財
 施策 17 郷土の歴史や文化を大切に継承する

理念 活力

施策主管課【社会教育課】

めざすまちの姿

地域の歴史や伝統文化が大切に守られ継承されている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

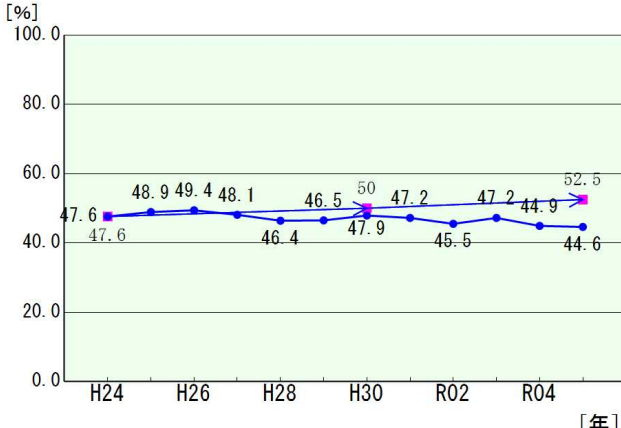
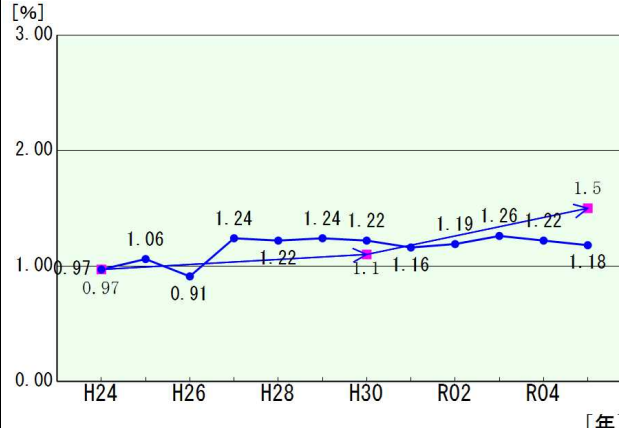
伝統文化・文化財の継承をとおして、世代間の交流を図り、祭りや伝統文化・文化財を生かしてまちに愛着を持てる環境を整備します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	伝統文化を大切に守る	54,691	54,042
02	郷土の歴史と文化に親しむ	63,673	62,798
施策合計		118,364	116,840

まちづくり指標の分析

No	0025	No	0026
方向性	→	方向性	→
郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合		15歳～30歳の若者のなかで、伝統文化を継承している団体に所属している人の割合	
 [%] 100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0 H24 H26 H28 H30 R02 R04 [年] 対基準値:3.0ポイント減 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:-61.2% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:若年層の郷土の歴史への興味低下が要因と考える。比較的時間に余裕のある世代、職業が高い。		 [%] 3.00 2.00 1.00 0.00 H24 H26 H28 H30 R02 R04 [年] 対基準値:0.2ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:39.6% 要因:地域の伝統文化団体が継承を意識した活動を実施してきた効果と考える。	

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「愛着を持っている人の割合」は基準値から低下、「団体に所属している人の割合」はめざそう値達成率が39.6%であることから、施策は順調に進展しなかった。

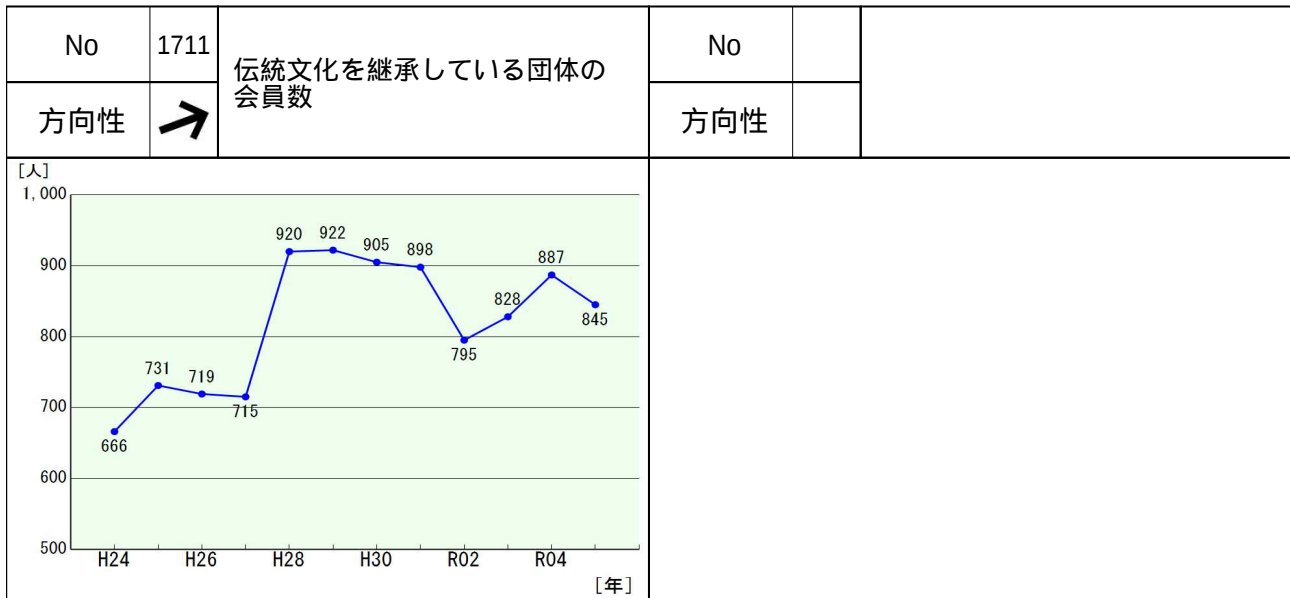
6次計画期間において、地域のまつり等の伝統文化を継承する団体の積極的な活動等により、団体に所属する若者が増加してきたものの、伝統文化や郷土の歴史への啓発が十分に行えていなかったことから、多くの市民が愛着を持つにはつながらず、基準値から低下したものと考える。

7次計画では、伝統文化や郷土の歴史を積極的に活用する事業を様々な世代に向けて実施していくことで、より多くの市民が伝統文化や郷土の歴史に愛着を持てるよう取り組んでいく。

施策 17 郷土の歴史や文化を大切に継承する
単位施策 01 伝統文化を大切に守る

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

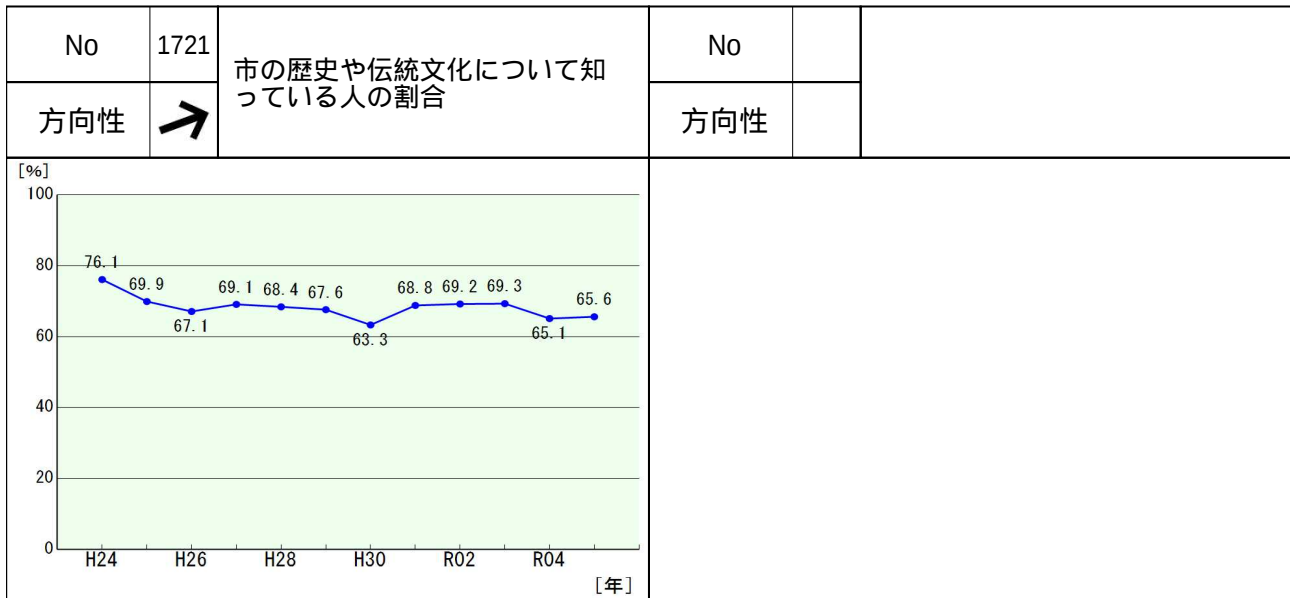
単位施策の評価

成果指標は基準値から改善しているが近年横ばい傾向が続いており、単位施策は横ばいで推移した。
 成果指標は、基準値から179人向上しており、その理由としては、各種団体が補助金等を活用し、伝統文化を継承するための活動へ積極的に取り組んでいることが要因と考える。
 7次計画では、文化財等の維持管理に対する補助事業を活用した適切な保存や文化財等に触れ合う機会の提供により、文化財・伝統文化を継承していく環境づくりに取り組んでいく。

施策 17 郷土の歴史や文化を大切に継承する
 単位施策 02 郷土の歴史と文化に親しむ

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から低下しており、単位施策は順調に進展しなかった。
 成果指標は基準値から13.8ポイント低下しており、年齢別では若年世代の割合が低い。その理由としては、平洲記念館等において各種啓発事業を実施しているが、高齢世代の講座等の受講者が多く、若年層世代の受講者が得られていないことが要因と考える。
 7次計画では、歴史や伝統文化への関心が薄い若年層世代に対するPR方法等の工夫を検討していく。